

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	粒状シェル苦土
会社名	全国農業協同組合連合会
担当部署	耕種資材部
住所	〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 J Aビル 33F
電話番号	03-6271-8285
FAX番号	03-5218-2536
電子メールアドレス	zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡番号	03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体	区分外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	区分外
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性固体	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性	区分外
急性毒性(経口)	分類できない
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	分類できない
環境に対する有害性	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生環境急性有害性	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

警告
不燃性であり、通常の取り扱いでは特に危険性はない。
粉じんを吸引すると咳き込む。
粉じんが皮膚を刺激する。

注意書き:

【安全対策】

【救急措置】

【保管】

【廃棄】

粉じんが目を刺激する。

適切な保護手袋を着用すること。

必要に応じて、適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。

粉じんが皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

粉じんが皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

粉じんが眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを

着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

粉じんが眼に入った場合、直ちに医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

乾燥した換気の良い屋内に保管する。

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務
依頼すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物の粒状品

ドロマイト

化学名又は一般名:

ドロマイト(Dolomite)

別名:

苦灰石、白雲石、苦土タンカル、苦土石灰

化学式:

$\text{Ca}\cdot\text{Mg}(\text{CO}_3)_2$

官報公示整理番号(化審法・安衛法):

—

CAS番号:

16389-88-1

カキ殻石灰

化学名又は一般名:

牡蠣殻(Oyster Shell Powder)

別名:

カキ殻石灰

化学式:

CaCO_3 60%以上

糖蜜

化学名又は一般名:

糖蜜

成分:

水分、糖分、その他固形物等

4. 応急措置

粉じんを吸入した場合:

咳き込む場合があり、止まらない場合には医師の診断を受ける。

粉じんが皮膚に付着した場合:

汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹼で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

粉じんが目に入った場合:

まぶたを開いて数分間、多量の水で洗浄し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:

口をすすぐこと。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤:

不燃性のため必要なし。

特有の消火方法:

速やかに容器を安全な場所に移す。

消火を行う者の保護:

消火作業の際は、適切な空気呼吸器を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具

及び緊急時措置:

作業者は、必要に応じて適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を
参照)を着用する。

環境に対する注意事項:

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和:

漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法と機材:

危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策:

必要に応じて、「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の保護具を着用する。

局所排気・全体換気:

必要に応じて、局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項:

吸入又は飲み込まないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

接触回避： 「10. 安定性及び反応性」を参照。
保管
技術的対策： 乾燥した換気の良い屋内に保管する。
混触危険物質： 酸との接触を避ける。
容器包装材料： 吸湿性の少ない包装材料を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度： 設定されていない。
許容濃度
(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)
日本産衛学会(2014年版)： 第3種粉塵 総粉塵8mg/m³ 吸入性粉塵2mg/m³ (粉じんとして)
ACGIH(2005年版)： TLV-TWA 3mg/m³
設備対策： この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具
呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具： 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。
安全眼鏡を着用すること。撥ね飛び又は噴霧によって眼及び顔面接触が起こりうる時は、包括的な化学スプラッシュゴーグル、及び顔面シールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護具： 適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策： 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など： 褐色又は灰色の粒状
臭い： 僅かな臭気をもつ
pH： データなし
融点・凝固点： データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲： 分解
引火点： 不燃性
比重(密度)： 2.7~2.9
溶解度： 水に微溶
分解温度： 1次分解温度約800°C(MgCO₃が分解)、2次分解温度約900°C(CaCO₃が分解)

10. 安定性及び反応性

安定性： 通常の使用では安定。
加熱すると分解し、酸化カルシウムを生じる。
危険有害反応性可能性： 酸類と反応し、二酸化炭素を発生する。
強酸化剤と反応する。
避けるべき条件： 酸との接触。
混触危険物質： 強酸化剤、酸類。
危険有害性のある分解生成物： 酸化カルシウム

11. 有害性情報

急性毒性： ラットを用いた単回経口投与毒性試験で2000mg/kg投与したが、死亡例は認められなかった。LD50は2000mg/kg以上と推定される。
製品に含まれているカキ殻石灰について、以下の情報がある。
ラットLD50で>6,000mg/kg。飲み込んでも有害性が低い。
皮膚腐食性・刺激性： 粉じんは皮膚を刺激する。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 粉じんが眼に入ると、痛みがある。
製品に含まれているカキ殻石灰について、以下の情報がある。
ウサギ750µg/24時間、重度。区分2Aとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性： 製品に含まれているカキ殻石灰について、以下の情報がある。
ウサギ50mg/24時間、中程度。区分2とした。
変異原性： 細菌を用いる復帰突然変異試験にて陰性。

生殖細胞変異原性:	データなし。
発がん性:	IARC、ACGIH、NTP、EPAに記載がないため、分類できない。
生殖毒性:	データなし。
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露):	情報なし。
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露):	情報なし。
吸引性呼吸器有害性:	データなし。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	データ不足のため分類できない。
水生環境慢性有害性:	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
海上規制情報	非該当。
航空規制情報	非該当。
国内規制	
陸上規制情報	非該当。
海上規制情報	非該当。
航空規制情報	非該当。
特別の安全対策	積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。

15. 適用法令

作業環境評価基準 (労働省告示第79条、昭和63年9月1日)別表:	
肥料取締法:	

16. その他の情報

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。

本SDSは下記、村檜石灰工業株式会社の情報を元に作成しました。
該当物質については下記にお問い合わせください。

会社名	村檜石灰工業株式会社
住所	栃木県佐野市宮下町1番10号
電話番号	0283-86-3511
FAX番号	0283-86-4118
緊急連絡番号	0283-86-3676